人間関係づくりプログラムとは

人間関係づくりプログラムとは、集団で様々なアクティビティを行うことで、集団の構成員同士がお互いに新たな人間関係を築く、心の壁を取り除く、絆をさらに深める、お互いの気持ちを理解するためのプログラムです。（アクティビティの内容は、発達段階等に応じて選択できます。）

こんな経験はありませんか？
～人間関係づくりプログラムが効果的な場面～

- 年度初め、学級内の子どもたち同士の態度がよそよそしく感じられる。
- 学級内に孤立傾向の子どもがいる。
- 学級内が複数の小グループに分かれてしまい、学級全体としてのまとまりがない。
- 長期休業明け、学級の人間関係がくずれてきているように感じられる。
- 学校行事への思い入れが強いグループとそうでないグループに学級が分かれてしまい、学校行事への取り組みがうまくいかない。

参加者の声
～人間関係づくりプログラムを体験した小・中学生の感想～

- みんなとの仲を深めることができ、その人について知らなかったことも知ることができた。（中学生）
- 積極的にいろいろな人と話すことができた。まだ話したことがない人にも自分から話しかけようと思った。（中学生）
- 自分が積極的になると、みんなと仲良くできることと楽しく活動できることを学んだ。（中学生）
- 人が失敗しても、責めずに励ますことが大切だということを学んだ。（小学生）
- 友達と前よりも仲良くなれた。（小学生）

学級経営に関する悩みを解決するツールの一つとして、

お役に立つと思います。

まずは、先生方がご体感ください。